

このほんしってる？

3・4年生

ここに紹介した本は、図書館にあります。

読みたい本がみつかったら、厚木シティプラザ3階

こどもの本のフロア、依知北・睦合北・小鮎・荻野・

森の里・玉川・相川・睦合西・南毛利の公民館に来て

ください。移動図書館「わかあゆ号」でも借りられます。

本は、ひとり10冊、2週間まで借りられます。

読みたい本が貸出中のときは、予約をしてください。



2023年

厚木市マスコットキャラクター
あゆ号回

3・4年生 よみもの

『お話のたきぎをあつめる人 魔法の図書館の物語』

ローレンティン妃&パウル・ヴァン・ローン/作 西村 由美/訳

佐竹 美保/絵 徳間書店

ステラは本を読むのが大好きな女の子。おじいさんにもっと本
が読みたいと話すと、今はだれもすんでいないお城に『お話し
の図書館』があるが、お城のどこなのか、自分でさがさないといけな
い、と。ステラは、わくわくしながら図書館さがしをはじめます。



『18枚のポートレイト 柏葉幸子小品集』

柏葉 幸子/著 植田 たてり/画 理論社

この本には18の小さなお話が入っています。少し不思議で、
「こんなことあるかな？あるかもしれない！」という気持ちになる
お話ばかりです。家族が自分以外みんな「きつね」だったお話、「鬼
当番」というなその当番のお話、みんなと遊んだふくちゃんが「お
地蔵さま」かも？というお話など。お気に入りのお話をみつけてね。



『タヌキの土居くん』 富安 陽子／作 大島 妙子／画

福音館書店

児童が10人の山下小学校。4月のさいしょの月曜日、アカネちゃんが教室で見たのは、土居くんの席にすわるタヌキ。「土居くんがタヌキになった?」と、おどろくと、土居くんは、もともとタヌキだったこと、学期の目標「なかよく、元気に、しょうじきに」の「しょうじき」のため、化けるのをやめたことを話すのでした。9人と1ぴきの学校生活が始まります



『チイの花たば』

森 絵都／作 たかお ゆうこ／絵 岩崎書店

チイのおばあさんは、お花やさんです。お客さんの思いどおりの花たばを作ることができる、その仕事ぶりは、まさに神わざ。チイもおばあさんのようなお花やさんになりたいです。でも、お花やさんになるには、テストがあるみたいで…。いったいどんなテストなのでしょう?



『ぼくんちのねこのはなし』

いとう みく／作 祖敷 大輔／絵 くもん出版

一真の家のねこ、「ことら」は十六歳、人間でいうと八十歳。腎不全っていう治らない病気になった。「死んじゃうかもしれない」って考えるのはこわい。治療のこと、お金のこと、ことらがつらい思いをしないこと。「みんなで、ことらにとってなにがいちばん幸せなのかを考えて」決めたこと。



『めいたんていサムくんとなぞの地図』

那須 正幹／作 はた こうしろう／絵 童心社

火事のあった家のそばで、宝という昔の字の書かれた地図を見つけました。地図には、ふしぎな記号も書かれています。宝はどこにかくされているのか? サムくとなかまの4人は、なぞを解き、宝を見つけることができるでしょうか。



3・4年生 しらべる・あそび

『海べをはしる人車鉄道 東海道線のいま、むかし』

横溝 英一／文・絵 福音館書店

東京駅から出発して、海ぞいをはしる東海道新幹線。今の
ように鉄道が発達する前は、馬車や人車の鉄道がはっしていま
した。馬車鉄道は、馬がひく鉄道のこと。では、人車鉄道とは？
人が鉄道を押してはっしていたのです。景色のいい海べの道を、
人車鉄道は、どのようにはっしたのでしょ。



『きょうりゅうレディ さいしょの女性古生物学者メアリー・アニング』 リンダ・スキアース／作



マルタ・アルバレス・ミゲンス／絵 まえざわ あきえ／訳 出版ワークス
家がまずしく学校にいられないメアリー・アニングは、かい
がんの化石や貝がらを買って生活していました。ある日、メア
リーのおにいさんとみつけた化石のほねは 何百万年も前のもの
で、地球の見かたもかわる大発見でした。メアリーは知りたい
気持ちがあると、あきらめずに化石をさがし続けます。

『出動せよ！世界の緊急車両図鑑』

サイモン・タイラー／作 宮坂 宏美／訳 あすなろ書房

緊急事態発生！事件や事故に出動する全70種類の
世界各国の乗り物が紹介されています。パトカー、バイ
ク、装甲車、消防車、消防艇、救急車、レスキュー
車、レスキューヘリ、巡視船、砕氷船、ドローンも。



『小さな小さなウイルスの大きなはなし』 伊沢 尚子／文 坂井 治／絵 中屋敷 均／監修 くもん出版

「ウイルスって、知ってる？」と聞かれると、「知ってる、病
気をもってくるこわいやつ。」と。確かに、ウイルスは目に見え
ず、人に悪い働きばかりしているイメージですよね。でも、ほ
かの働きはないのでしょうか。そこでウイルスのこと、もっと
調べてみましょう。きっと新しい発見があるはずです。

『トムをみつけよう！ 中国<明>』 ^{ちゅうごく ぶん} NOSY CROW 編集部/文 ファッティ・バーク/絵 大英博物館/協力 山根 玲子/訳 城地 孝/日本語版監修 BL出版

トムは冒険が好きなふつうの少年。考古学者のおばあちゃんの家
 いくと、500年くらい前の中国の明という時代の服が。トムが服にさわ
 ったとたん、「ヒューン！」と飛ばされて、気がつくと、そこは明
 の時代の中国。登場するたくさんの人の中にトムがいるよ。トムをみ
 つけながら、万里の長城や紫禁城などを探検しよう。



『ホタルイカは青く光る』

阿部 秀樹/写真と文 小学館



富山湾では、3月から5月の夜にホタルイカのメスが産卵のために深海から海面へやってきます。漁がはじまると、網の中はホタルイカの発光する青い光でいっぱいになりました。不思議な生態をもつホタルイカと暮らす人々の様子を、のぞいてみましょう。

*中央図書館 3階 こどもの本のフロアのご案内

3階の閉まっている時間

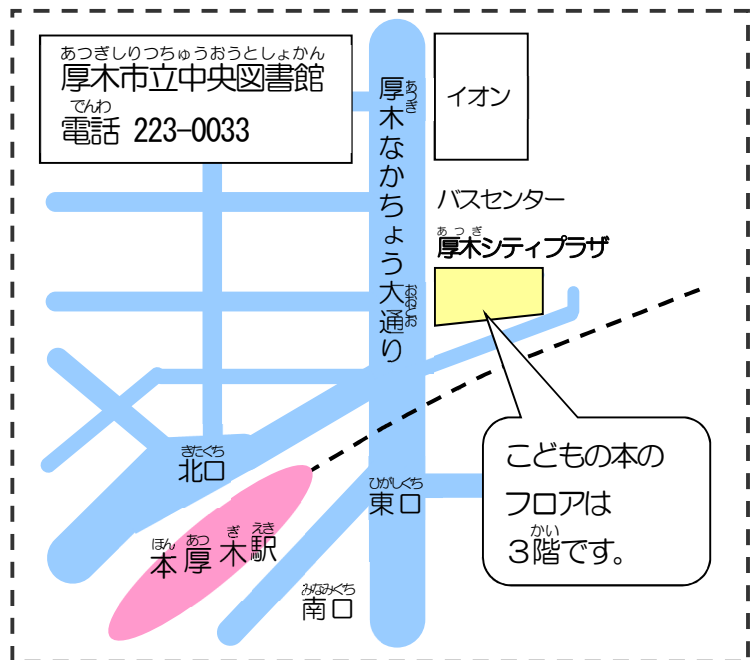
午前9時から午後5時まで

お休みの日

施設保守日

年末年始

本の整理のとき ほか



図書館は、バスセンター南側の厚木シティプラザの中にあります。